

平成28年10月1日

題字は
4-11-2
梶谷清苑さん

市・日吉台学区を対象に

まずは、**実態調査を実施**

利活用の方策探る

実態調査が、学区自治連役員会で認められたことで、市は近く、学区内の自治会非加盟会員含め全世帯に「日吉台学区における空き家等の利活用方策の検討・協議の実施について」のビラを配布調査に理解を求めるとともに28年度内に3回程度、地域に有効な利活用策の検討や課題点など住民や事業者団体などから意見を聞く意見交換会の開催を予定している。

今回の提案にあたって市は、各丁が把握してい

るとみられる空き家などの簡単な所在情報の提供を求めてきた。情報提供については、各丁の独自の判断が必要になるとして学区自治連は、各丁組長会で提供できるかどうか協議するよう各自治会長に要請した。

多目的広場いたずらに泣く

学区自治連・大津署に被害届

討するとともに、大津署に被害届を提出、同署も捜査に乗り出した。

同健康広場は、もともと学区自治連合会の所有。多目的広場として主に高齢者らがグラウンドゴルフを楽しむ憩いの場として

て利用されていた。昨年度、所有権が大津市に移管されたが、所有権移転後も学区自治連が管理、高齢者の憩いの場としての利用形態は変わっていないかった。

同広場で盗難被害など

搜索に団体連絡網を利用

学区自治連の9月定例
役員会は、徘徊老人や、
認知症の行方不明者を早

があつたのは、学区自治連で把握しているだけで今年4件。6月20日と7月19日には、広場入口の車両侵入防止用に設置した簡易のビニール製ロープが持ち去られ、7月31日には、この簡易ロープと一緒に取り付けてあつた南京錠もなくなつていた。さらに9月12日の朝には、広場内に設置されていた水道施設の金属蛇口が盗難被害に遭つていたことが分かった。

第32回学区自治連大運動会

10月9日、日吉台小で開催



日吉台学区自治連合会（野々口義信会長）主催学区体育振興会（清水精一会長）主幹の「2016年度第32回日吉台学区民大運動会」は10月9日（雨天の場合は10日）、日吉台小学校グラウンドで開かれる。

運動会開催にあたって
学区自治連では、学区体
育振興会と協議しながら
例年と同様、学区内の各
種団体の協力を得て実行
委を組織、検討を重ねて
きた。

運動会は、午前9時に開会式があり、来賓、役員、選手集合のあと開会宣言。前年度男女混合リレー優勝の2丁目南と4丁目西両自治会代表による炬火入場、点火があり、前年度総合優勝チーム4

丁目東代表選手が選手宣誓を行う。

競技プログラムは、玉入れ、幼児走、5分間持久走、ジャンボボール運びおもしろリレー、買ひ物競争など例年と競技種目は変わらない。運動会の華、男女混合リレーで競技の最後を締めくくる。

競技後、幸運の抽選会が行われるが、この抽選会に不在の人は当選無効となるので注意。雨天延期、中止の判断は、午前5時半までに学区自治連、体育振興会長が協議し判断、連絡網で伝え、学区自治連ホームページでも紹介する。

で使う連絡網を搜索体制に活用することを認めた。連絡網利用が認められたことで学区自治連は、搜索に連絡網を利用することとを各種団体に要請、連絡網の提供を求めることにした。

学区内で、俳諧老人や行方不明者が出た場合の搜索をどのようにするか。SOSネットワークの最大の課題。搜索をする手配ルートに各種団体が持つ連絡ルートを利用することで、搜索体制づく

りは一歩前進した。今後は、行方不明者が出た場合、行方不明者の情報をどのように把握、情報を伝達するかがネットワーク構築が今後の課題になり、検討委で協議を進める。

戸別ゴミ収集実施

対象は限定的・申請が必要

大津市は、市高齢者福祉計画・介護保険事業計画「おおつゴールドプラン2015」に基づき、定期集積場所にゴミ出しが困難な高齢者らを支援する「ゴミ出し支援戸別

収集サービスを」を10月から行う。

この支援サービスは、その地域の家庭ゴミ招集日に、ゴミ出しが困難な対象世帯を市指定業者が個別に訪問、その家庭の

家庭ゴミを持ち帰る。
対象となる世帯は、要介護度1以上の認定を受けている65歳以上の高齢者、または身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている障害者のみで構成されている世帯▽世帯員のいずれかが介護保険サービスまたは、障害者福祉サービスを利用し、家事援助を受けている世帯▽定期収集ゴミ

出で、親族または、近隣に在者等の協力が得られない世帯のすべてに該当する世帯。

希望者は、居宅介護支援事業所または、訪問介護事業所の管理者、介護支援専門員等が署名した申請が必要。申請書は、市長寿政策課、介護保険課、障害福祉課、廃棄物減量推進課、市内7か所のあんしん長寿相談所においてある。

お元気でいつまでも 学区敬老のつどい

のつどい」には、学区在住の75歳以上の在住者619人のうち107人が出席。参加者中最高齢102歳になる3丁目東在住の楠原新一さんも元気な姿で顔を見せていた。開会式で呉屋之保・学区社会福祉協議会会長が「健康寿命を延ばし長寿のまち、日吉台を作っていく」とあいさつ、

来賓として出席した越直美・大津市長が「いつまでも元気で地域のために活躍してください」とお祝いの言葉を述べた。このあと今年米寿を迎え式典に出席していた11人にお祝いの記念品が贈られ、食事も、アトラクションなどで初秋のひととき楽しんだ。

日吉台学区の敬老のつどいで、お祝いの言葉を述べる越直美大津市長

敬老月間中の9月11日、日吉台市民センターで第12回「福祉まつり」敬老のつどい（日吉台学区社会福祉協議会、日吉台学区自治連合会主催）が開かれ、参加したお年寄りたちは、式典のあと繰り広げられるアトラクションやアニメ映画会やゲームなどがあるお楽しみ広場、模擬店など行事を満喫した。長寿を祝う式典「敬老



手づくりで、花壇の垣根を設置

四季の会と学区民会議のメンバー

日吉台市民センターの正面玄関花壇と西側花壇に9月中旬、三丁目東の花と緑のまちづくりグループ「四季の会」と「青

少年育成学区民会議」合同のボランティアメンバーが、手造りで真っ白にペンキ塗りした木製垣根を設置した写真。

日吉台学区内で、花と緑のまちづくりをするボランティアグループの集まり「日吉台花と緑の会」の7月の情報交換会で、

日吉台学区社会福祉協議会は10月15日正午、日吉台市民センターで、子ども食堂「ひよしだい」を開店する。この子ども食堂は今後、毎月1回定期的に開店する。日吉台の子ども食堂「ひよしだい」

は、食と居場所を提供するだけでなく日吉台に住む大人や子どももみんなが楽しくつどいふれあいの場づくりを目指している。メニューは、子どもたちはもちろん大人も大好きなカレーが提供される。

メニューはカレー

子ども食堂開店

10月15日、市民センター

開店時間は正午から午後1時までの1時間。参加費は子ども無料。大人200円。水筒、タオルを持参、幼児は保護者の同伴が必要。乳幼児やアレルギーの人には、卵、小麦、そばなど不使用のカレー粉で作った

カレーを出す予定。参加希望は小学校、幼稚園の担任まで。問い合わせは黒井志穂さん（090・99997・0899）まで。

地域安全カメラ3台目設置へ

4丁目東地区に

学区自治連が、滋賀県警が行う地域安全カメラ貸付設置支援事業に申請

していた防犯カメラ1台の設置がこのほど認められ、9月から10月にか



け、4丁目東地区Ⅱ写真で、工事が行われる。この事業は、滋賀県警が県内の企業から寄贈を受けた防犯カメラを県内の地域に貸し付け、安心、安全なまちづくり、地域の防犯活動に役立てても



環境づくりに貢献しようと、市民センター前花壇に垣根を寄贈する話が決まり、三丁目東の「四季の会」が製作を担当、材料調達、ペンキ塗りを行っ

た。9月17日には、学区民会議のメンバーも加わり、総勢12人が真っ白な垣根を2時間あまりかけて組み立て設置した。

岡崎さんを表彰

学区老ク連も受賞

市老クラブ大で

大津市の明日会議室で開かれた「第42回大津市老人クラブ大会」で、日吉台1丁目、岡崎一郎さん（82）が、老人クラブ育成功労者として大津市長表彰を受け、日吉台学区老人クラブ連合会（中西耕司会長）が優良老人クラブとして、大津市社会福祉協議会会長表彰された。



岡崎一郎さん

らう制度。日吉台学区では、この制度で2台を設置、今年度で3台目となる。

今回の防犯カメラは、4丁目東地区の住宅街、民家のポールをお借りして設置するもの。この民家前の道路は、大津市坂本地区から湖西道路側道沿いに雄琴地区へ通ずる抜け道。土、日曜日になると、国道161号や湖西道路の混雑を避けた車が狭い住宅街を行き交い、付近住民を悩ませている。学区自治連では、交通事故防止や地域の犯罪抑止からも防犯カメラの設置が欠かせないとして申請設置が認められた。

日吉台学区老人クラブ連合会は、クラブの活動が活発で、社会奉仕活動等で顕著な実績をあげ他のクラブの模範になっている。これまで大津市老人クラブ連合会会長表彰を受けている。